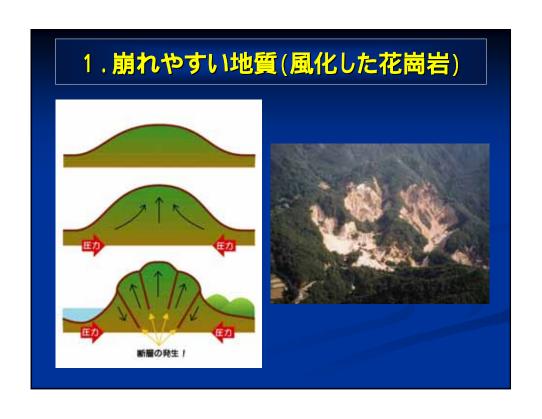


六甲砂防事務所

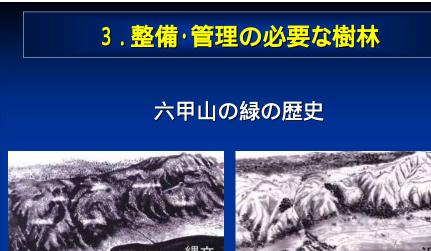
土砂災害の防止・軽減

六甲山は土砂災害に対してどのような山なのか?

- 1.崩れやすい地質(風化した花崗岩)
- 2.急峻な斜面
- 3.整備・管理の必要な樹林
- 4. 拡大する市街地







照葉樹林に覆われる



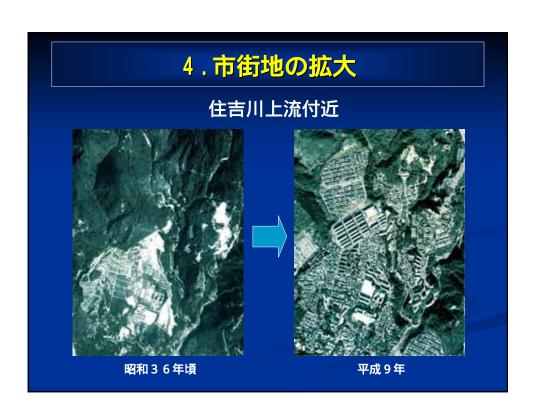
3.整備・管理の必要な樹林



神戸港から見た明治中期の六甲山



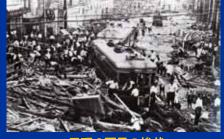




六甲山は土砂災害に対してどのような山なのか? 1. 崩れやすい地質(風化した花崗岩) 2. 急峻な斜面 3. 整備・管理の必要な樹林 4. 拡大する市街地

昭和13年7月の阪神大水害(1938年)

口(神戸市) 99万人 出土砂量 502万m³ 災家屋数 15万戸 者・行方不明者数 695名



元町6丁目の惨状

最大1日雨量 326.8mm 最大1時間雨量 60.8mm

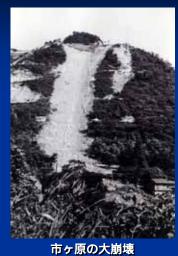


三宮駅前の惨状



泥土に埋もれるトラック

昭和42年7月の大水害(1967年)



最大1日雨量 319.4mm 最大1時間雨量 75.8mm







